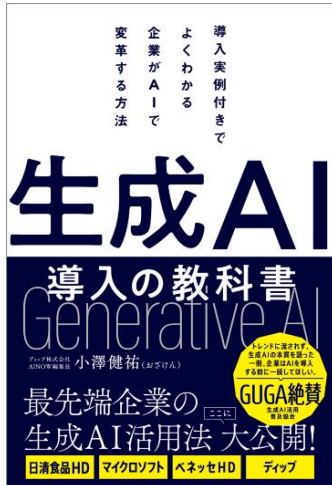


企業事例とプロンプト実例集で解説

書籍『生成 AI 導入の教科書』9月28日発刊

ディップ株式会社（以下「当社」）の運営する AI・人工知能専門メディア「AINOW」(※1) 編集長 小澤健祐著による書籍『生成 AI 導入の教科書』（以下「本書」）が株式会社ワン・パブリッシングより出版されたことをお知らせいたします。



小澤は当社内での AI 活用を推進する他、社外における AI 活用コミュニティのモデレーターも務めるなど AI に関わる業務に幅広く携わっています。本書ではその知見を生かし、AI の最新動向や、大企業の生成 AI 活用事例を詳しく紹介しています。さらに、生成 AI 導入をサポートする企業や団体の主要人物へのインタビューも掲載されています。その上で、実際に生成 AI を最大限に活用するためのプロンプト (※2) テクニックの詳細な解説も記載しています。

さらに、本書の制作においても生成 AI 技術を活用しています。企画から発刊までの時間を通常の 3 分の 1 程度に短縮しております。構成や見出しの作成、文章の校正、インタビューのまとめといった部分で、生成 AI の持つ能力を最大限に活用しています。

■書籍概要（本文より一部抜粋）

2023 年、約 70 年にも及ぶ AI の長い歴史は転換点を迎えました。それこそが、「生成 AI の衝撃」です。これはすなわち、私たち人間が、知性の中核でもある言語能力を「システム」に実装したということの意味

します。この度の生成 AI の衝撃は、これまでの一過性の AI ブームとは本質的に異なるものなのです。生成 AI の衝撃は、かつてない規模です。しかし現実を見ると、生成 AI はまだ万能ツールではありません。いつの日も「AI」という技術は過度にメディアに報じられ、その可能性の本質が理解されないまま、ブームの終焉を迎えてきました。

この生成 AI のムーブメントを一過性のものにせず、社会転換の起爆剤にしていきたい。そんな思いで執筆したのが「生成 AI 導入の教科書」です。本書が、生成 AI のなかでも「大規模言語モデル (LLM)」を企業で導入し、企業を変革させていくきっかけとなれば幸いです。

▼目次

- Chapter1：AI は「作る時代」から「使う時代」へー 生成 AI とは
- Chapter2：「今までの DX は絆創膏」ー つぎはぎの DX と生成 AI
- Chapter3：生成 AI によるビジネスモデルの変革
- Chapter4：生成 AI を社内で活用するために理解してすべきこと
- Chapter5：「業務理解が第一歩」生成 AI の導入ステップ
- Chapter6：生成 AI の既存システムとの連携パターン
- Chapter7：生成 AI を活用するプロンプトエンジニアリング術
- Chapter8：これからの生成 AI をめぐる動向
- Chapter9：企業における AI 導入のベストプラクティス

■著者プロフィール

小澤健祐（おざけん）



「人間と AI が共存する社会をつくる」がビジョン。AI 分野で 1,000 本以上の記事を執筆。当社が運営する「AINOW」編集長のほか、生成 AI 活用プロジェクト「dip AI Force」を社内で推進。AI ベンチャー Carnot の事業戦略や生成 AI 教育事業を展開する Cynthialy の顧問、日本最大の AI 活用コミュニティ「SHIFT AI」のモデレーター&パートナーインフルエンサーも務める。一般社団法人生成 AI 活用普及協会 協議員。

AI 以外の領域では、2022 年に Cinematorico を創業し COO を務めるほか、当社が運営する SDGs 専門メディア「SDGs CONNECT」編集長、IT フリーランス向け案件プラットフォームを運営するテックビズの PR、フリーカメラマン、日本大学文理学部 次世代社会研究センター プロボノも務める。

■書籍情報

書名：『生成 AI 導入の教科書』

発売日：2023 年 9 月 28 日（木）

定価：本体 1,760 円（税込）

ページ数：288 頁

発行：株式会社ワン・パブリッシング

Amazon URL：<https://amzn.asia/d/btM8qDH>

■AI・DXに関する当社の取り組み

当社は2016年より日本最大級のAI専門サイト「AI NOW（エーアイナウ）」を運営、AIスタートアップ支援制度「AI Accelerator」の実施、「DIP Labor Force solution Fund」を通じて20社以上のスタートアップ投資を行うなど、AIに関連する取り組みを実施してきました。また、2019年より「Labor force solution company」をビジョンに掲げ、求人情報サイト「バイトル」などの人材サービス事業に加え、顧客企業の業務効率化を推進するDX事業を開始し、日本の労働市場における諸課題の解決を目指しています。

2023年4月には生成AIを活用し雇用創出の可能性を大きく広げる「AI エージェント事業」(※3)の開発開始と同時に、その早期実用化のため「ディップ技術研究所」を設立。データ戦略の第一人者である安宅和人氏をアドバイザーに迎え、AI戦略のスペシャリストである東京大学松尾豊研究室の成果活用型企業である株式会社松尾研究所と連携した共同研究を実施しております。

さらに、当社内においては250名のアンバサダーからなる全社横断のプロジェクトチーム「dip AI Force」(※4)を立ち上げ、現場で活用できる200以上のプロンプトデータベースを約3,000名の全社員に公開しています。本書ではその詳細を紹介しています。

今後もDX推進・AIの適切な活用とともにその可能性を最大限に引き出すことで生産性向上を目指し、誰もが働く喜びや幸せを感じられる社会の実現に向けて取り組みを続けてまいります。

(※1) <https://ainow.ai/>

(※2) AIシステムに対して与えられる入力テキストや指示、伝える情報や要求の枠組み

(※3) <https://www.dip-net.co.jp/news/1898>

(※4) <https://www.dip-net.co.jp/news/1924>

当社概要

労働市場における諸課題を解決し、誰もが働く喜びと幸せを感じられる社会の実現を目指す「Labor force solution company」をビジョンに掲げ、人材サービス事業とDX事業を運営しています。企業理念「私たちdipは夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社 名：ディップ株式会社（dip Corporation）

代 表： 富田 英揮（代表取締役社長 兼CEO）

本 社：東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177（代表）

設 立：1997年3月

資本金：1,085百万円（2023年2月末現在）

従業員数：2,925名（2023年4月1日現在の正社員）※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：求人情報サイト「バイトル」「バイトルNEXT」「バイトルPRO」「はたらこねっと」看護師転職支援サービス「ナースではたらこ」などの運営、DXサービス「コボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所（プライム市場）

売上高： 493億円（2023年2月期）

URL：<https://www.dip-net.co.jp/>

【本リリースに関するお問合せ先】

ディップ株式会社 広報部

TEL 03-6628-4070

e-mail：info@dip-net.co.jp